

## 式 辞

校庭の桜も満開となった春のこの佳き日に、大分県議会副議長・濱田洋様、九重町長・日野康志様、玖珠町長・宿利政和様をはじめ、多くのご来賓並びに、保護者の皆様方のご臨席を賜り、大分県立玖珠美山高等学校 第五回入学式を、盛大に挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない喜びであり、心から感謝申し上げます。



ただ今、入学を許可しました八十三名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。玖珠美山高校を代表しまして、皆さんの入学を心から祝福し、歓迎いたします。平成から令和へと年号も変わり、新しい時代が幕を開けようとしています。皆さんは、九年間の義務教育を終了し、新たな高校生活に向けて、希望に胸を膨らませていることと思います。その気持ちをいつまでも忘れることなく、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

また、これまで、深い愛情を注ぎ、お子様を育てこられた保護者の皆様にも、本日のご入学を、心からお祝い申し上げます。

本校は、平成二十七年四月に、普通科と地域産業科の二つの学科を有する、総合選択制の高校として開校しました。今年度五年目を迎え、地域に信頼され、愛される学校を目指して、学校づくりに取り組んでおります。新入生の皆さん、玖珠美山高校は、あなたたち一人一人が主役になれる学校です。皆さんが、思う存分に自分の可能性を広げ、先輩たちが作った歴史と伝統をさらに発展させ、本校の学校づくりに貢献することを期待しています。

さて、これから私たちが生きていく社会は、急速なグローバル化や情報通信技術の進展など、これまで誰も経験したことのないほど変化の激しい社会になります。一旦身につけた知識だけで生き抜いていくことはできません。自ら学ぼうという意欲をもって、生涯学び続けることが大切になります。そこで、皆さんが高校生活を始めるに当たり、2つのメッセージを送ります。

まず第一は、「高い志をもち、何事にもあきらめずに挑戦する」ということです。ドイツ生まれの詩人サミュエル・ウルマンの作品に、「青春」という有名な詩があります。ここで、抜き出して紹介します。「青春とは人生のある時

期ではなく、心の持ち方を言う。薔薇の面差し、紅（くれない）の唇　しなやかな肢体ではなく、たくましい意志、豊かな想像力、燃える情熱を指す。ときには二十歳の青年よりも六十歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときはじめて老いる」。皆さんは、今、若い身体を持っています。一方で、若い心を育て、持ち続けるためには努力が必要です。まずは、日々の授業や部活動などの様々な場面で、なぜかな、どうしてかな、もっと知りたい、もっと上手になりたいという気持ちを大切にしてください。一旦興味を持ったことには、積極的にチャレンジし、粘り強く取り組んでください。失敗してもいいじゃないですか。人間は失敗しながら成長します。その過程で、心が強く、しなやかになります。本校の教職員は、果敢に挑戦するあなたたちを全力で応援します。信頼して何でも相談してください。

第二は、「人との関わりを大切にする」ということです。人は人との関わりの中で成長します。自分と感性が全く同じ人はいません。異なっているからこそ、出会う意味があり、その人から学んで成長することができます。皆さんは、これから過ごす三年間で多くの人と出会います。出会った人との関わりを大切にして、自分と異なる部分を尊重しながら、人間的に成長してほしいと思います。高校は、一生の友が見つかる場所です。よき友を作ってください。

ここで、保護者の皆様をお願いいたします。本日からお子様をお預かりすることになりました。教職員一同、全力で、お子様の教育に邁進する所存でございます。本校の教育に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご来賓の皆様方におかれましては、何かとご多用な中、ご臨席を賜り、誠にありがとうございました。また、玖珠町、九重町をはじめ、多くの皆様方からは、物心両面にわたるご支援をいただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。三十年後・五十年後の姿を見据え、地域に根ざし、地域に信頼され、地域とともに成長する学校づくりに引き続き邁進してまいります。今後一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

平成三十一年四月九日

大分県立玖珠美山高等学校  
校長 奥田 宏

